



# 未来

第42号

平成29年  
11月1日

## 職場紹介 医事課

当院の医事課の業務は、主に入院の診療報酬請求業務です。外来は(株)ニチイ学館に業務委託しています。医師・看護師だけではなく、様々な職種が関わって医療を提供した結果を、レセプトという形で保険者へ請求し、患者様へは自己負担分を請求するのが主な仕事です。スタッフは若手が多く、正確で適切な診療報酬請求業務を行う為に、日々努力しています。

当院はDPC病院ですので、DPCの算定ルールに基づいて様々な点検を行っています。

請求業務というと、電子カルテとにらめっこのイメージがあるかもしれませんが、行われた医療行為が適切に請求できるよう、医師、看護師、及びコメディカルと連携をとりながら行っています。

また、平成29年6月から、医事課と医療情報室(診療録管理部門)が融合しました。診療録管理部門は、引き続き診療録管理を専従として行っており、各種データ作成・提出、がん登録、病名チェック、手術記録等のチェックやカルテ開示などを行っています。

医事課と診療録管理部門が融合したことにより、お互いの知恵を出し合い、請求業務とデータ作成の業務それぞれの精度向上をめざしているところです。派手さはありませんが、患者様・病院に貢献できるよう、一同がんばっています。



# 地域医療従事者研修会

日 時：平成 29 年 7 月 20 日（木）

テーマ：「口腔ケアを考える」

講 師：広島記念診療所 歯科医長 山田 賢治

参加数：37 名

研修会では、ブラッシング、義歯の取り扱い、歯垢の特徴、唾液の作用、う蝕の種類、口腔粘膜障害など、多岐に渡った内容を学ぶことができました。

当院では手術が決まった時点で歯科紹介を行い、口腔環境を整えた上での入院、手術をすすめています。誤嚥性肺炎を予防し、安定した経口摂取ができるようになることで術後の回復が促進し、患者様に大きなメリットがあると考えています。

医療従事者が、もっと患者様の口腔環境に意識を高くもちケアを行い、それでも困難な場合には、歯科介入を積極的にすすめていくことが重要であると改めて気付くことができた研修会でした。



日 時：平成 29 年 8 月 29 日（火）18：30～19：30

テーマ：「ポジショニング」「医療従事者の腰痛」「リハビリテーションと食事」

講 師：広島記念病院 リハビリテーション科 理学療法士

沖本謙吾 川口貴大 松本朋之

参加数：53 名

今回の医療従事者研修会は、リハビリテーション科の視点から、医療従事者の関心の高いテーマを3つ選択しました。

「ポジショニング」のテーマでは、ポジショニングの基本である局所荷重の分散をメインに話をしました。

「医療従事者の腰痛」のテーマでは、日常業務の中で起こりやすい腰痛のメカニズムと原因について話をしました。道具や姿勢、介助方法など簡単な注意で予防出来る事にふれ、医療・介護の提供者である医療・介護従事者の身体を守る方法の説明がありました。

「リハビリテーションと食事」のテーマでは、運動と栄養の相互関係の重要性をメインに機能低下に至ると起こる身体の不具合について話をしました。また、介護度と低栄養の関連性にも触れ、栄養改善を図る際には運動も考慮して欲しいと発表がありました。



日 時：平成 29 年 9 月 14 日（木）19：00～20：00

演 題：「薬薬連携の会」

<保険薬局>

1. 検査値付処方箋の活用 さくら薬局 管理薬剤師 藤原尚子先生
2. 薬局における在宅業務の現状 エスマイル薬局 管理薬剤師 石井圭子先生
3. 調剤過誤発生時における薬薬連携らいおん薬局 管理薬剤師 竹本貴明先生

<病院>

院外処方箋の疑義照会について 広島記念病院 薬局長 古元俊徳

参加数： 30 名

今回は、保険薬局の先生方にご発表頂く時間を設け、意見交換が行える会になるよう企画しました。発表テーマは自由に決めて頂き、これまでの取り組み事例、これから求められる薬局業務や連携に関する提言などについてご発表頂きました。

広島記念病院からは、院外処方せんに関する問合せを簡素化できる方法、プロトコルに基づく薬物治療管理 (PBPM：Protocol Based Pharmacotherapy Management) について紹介しました。

研修会当日は、「カープ!地元での胴上げなるか?リーグ優勝2連覇!」と、落ち着かない日でしたが、参加者からのご発言も多く、連携の会にふさわしい活気に満ちた素晴らしい会となりました。



日 時：平成 29 年 9 月 22 日（金）18：30～19：30

テーマ：「これからのストーマケア」

講 師：澤井尚子先生（ET ナース フェルデンクライスプラクティショナー）

参加数：60 名

今回の地域医療従事者研修会は、「これからのストーマケア」についてご講演頂きました。講師は、多くの医療機関でストーマ外来を行われ、在宅の場でもストーマケアを提供されているフリーランスの ET ナースである澤井尚子先生をお招きしました。ストーマの基本から最も新しいストーマ装具についての内容、さらにストーマ外来や在宅での関わりを学ぶことができました。ストーマに対して興味はあるが経験の少ない方、今現在ストーマの方のケアを行われている方といった、様々な医療従事者が参加されていましたが、それぞれの方に応じた内容になっていました。



当院の昨年度のストーマ造設件数は 39 件、ストーマ外来受診は 226 件ありました。訪問看護ステーションと連携してストーマケアを提供しているケースは年々増加しています。これからも、地域医療支援病院として他の医療機関や施設、訪問看護ステーションとの連携を図るとともに、当院でストーマを造られた方がいつでも相談できる場として、よりよいストーマケアを提供していきたいと考えます。

# ホームページをリニューアルしました

当院ホームページは平成 29 年 7 月 20 日リニューアルしました。今後とも充実した内容で皆様のお役に立てるホームページとなるよう取り組んでまいります。ひきつづき、よろしくお願い致します。

<https://www.kkrhiroshimakinen-hp.org/>



## 親和会 野球観戦

6月15日(木)、マツダスタジアム パーティベランダにて、カープ対オリックス戦を観戦してきましたので、報告します。広島記念病院 親和会主催で、職員・家族等の親睦・交流を目的とし、毎年、野球観戦に行っております。今年は、定員150名(+5名追加可能)のパーティベランダで開催することとなりました。最初は人数が集まらないのではと危惧しておりましたが、総勢152名(職員72名、家族49名、その他31名)の参加となりました。

パーティベランダは、3塁側の1階にあり、客席とグラウンドが近く、バッターが打ち返した球を、大迫力で観ることができました。今年から新設されたライブキッチンビューフエプラン(野球観戦をしながら、出来立ての料理が食べ放題プラン)を申し込み、好評でした。その日は、赤いシリーズ2017第2弾「ばんざい坊やキーホルダー」配布の日であり、参加者全員、キーホルダーをもらえ、記念となりました。

試合結果は、7対2で、カープが快勝。野球観戦で、日頃の疲れもリフレッシュでき、普段見られない職場の仲間達の意外な一面・家族を見ることができて、楽しいひとときとなりました。



# 消化器センターだより(No.2)

広島記念病院 消化器センター長 二宮 基樹

## 神の心根

カープの快進撃はとどまるどころを知りません。そのシンボルカラーの赤は広島では元気の源であり、もてはやされ最も愛されている色となっています。

ところで、カープカラーの赤よりうんと強烈な赤を誇るのが血液です。普段は身体の中に潜んでおり、一般の方は目にする機会は少ないと思います。しかし、少しでも鼻血が出たり、皮膚が切れて血が流れ出すと慌てたりしてしまいます。大きなけがで血が溢れ出ている光景を見ると卒倒するひともいるでしょう。

深紅をまとう血は、私達外科医が日常的に目にしている体液です。私が外科医になって40年間、新米のころから一度も血を恐いと恐れたり気持ち悪いと思ったりしたことはありません。手術の際に血管を損傷させ血が出ると、外科医は過敏に反応しわずかの出血でも即座に止血しようとします。ましてや大出血ともなれば、身体中のアドレナリンを総動員してなんとか血を止めようとします。恐いと思ったり気持ち悪いと思ったりするのは余裕があるひとの情緒なのです。外科医は仕事としてそれを止めることが使命であり、感情を差し挟む余地や余裕はないのです。血がでたら止める、それを俊敏に行おうとするのが外科医の性です。

私の長い外科医生活のなかでも、何度か息をのむほどの大出血に遭遇したことがありますが、手も足も震えました。それでも止めなければ患者さんは命を落とすわけですから、術者としてのすべての技量、経験と集中力そして手術チームのすべての力を注ぎ込んで血を止めに行きます。そのような戦場で止血に成功したあとの安堵感と虚脱感はたとうもありません。

ところで、血の色が白だったらと考えてみたことはありませんか。少々出血してもあまり驚いたり慌てたりしないような気がします。外科医も頭では理解しているので血が出れば止めようとするでしょうが、赤い血に比べてその動きは鈍るような気がします。結果として、ひとは随分と危険な状態にさらされることとなります。

自然にはあまりない色だから特別なものと考え、わずかの喪失でも慌てるのです。刺激的な色が視覚に映るから身体が鋭敏に反応するのです。身体にとって最も大切に価値ある体液を護るために神が血に深紅を与えたのだと思います。神の心根がしのばれます。



# 広島記念病院「理念」及び「憲章」

## 理 念

患者の皆様が、安心して受診できる、やすらぎの環境及び満足と信頼が得られる最良の医療サービスを提供する。

## 憲 章

1. 私達は、「癒しの心」を医療の心として職務に専念します。
2. 私達は、患者様の人権と意思を最大限に尊重し、納得と同意に基づいた全人的医療を目指します。
3. 私達は、日々自己研鑽に励み、良質で温もりのある、地域に密着した医療を心がけます。
4. 私達は、地域医療体系に参加し各々の持てる機能の連携により、より合理的で効率的な良質の医療に努めます。

### 地域医療連携室

TEL 082 (503) 0730  
 FAX 082 (503) 1010  
 代表 広島記念病院  
 TEL 082 (292) 1271  
 FAX 082 (292) 8175

### 内科・外科

FAX 082 (503) 0722  
 産婦人科・小児科  
 FAX 082 (503) 0723  
 耳鼻科・皮膚科・泌尿器科  
 FAX 082 (503) 1010

### 記念寿

TEL 082 (294) 8400  
 FAX 082 (294) 8420  
 合庁(合同庁舎診療所)  
 TEL 082 (221) 9411  
 FAX 082 (223) 6204  
 歯科診療所  
 TEL 082 (294) 7858

## 外来診療担当表

平成28年10月1日現在

診療科	受付時間	区分	月	火	水	木	金	土
内科	8:30~11:00	一診	隅井	山本	隅井	隅井	城戸	当番医
		二診	江口	田村	城戸	江口	田村	
		三診	木村	阿座上	木村	阿座上	山本	
		四診	山田					
総合診療科	8:30~11:00		横崎		石田(亮)		休診	
外科	8:30~11:00	一診	宮本	横山	坂下	宮本	坂下	当番医
		二診	橋本	小林	橋本	山本	小林	
	13:00~14:30	三診	角舎	二宮		二宮	豊田	
	8:30~11:00	一診	宮本	小林	坂下	宮本	坂下	休診
婦人科	13:00~14:30	一診	横田	横田	横田	横田	横田	
小児科	8:30~11:00	一般診療	岸	岸	岸	岸	岸	休診
	13:00~13:30	健診・予防接種	岸	岸	岸	岸	岸	
	14:30~16:00	一般診療	岸	岸	岸	岸	岸	
耳鼻咽喉科	8:30~11:00	一診	長田		長田		関	
皮膚科	8:30~11:00		入福				入福	
泌尿器科	8:30~11:00			井上		神明	林	
眼科	8:30~11:00	一診	金本	金本	金本	金本	小松	休診
		二診		藤東		藤東		
	午後(予約のみ)	手術	検査	手術	検査			
広島記念診療所 歯科	8:30~11:00		山田	山田	山田	山田	山田	電話番号 294-7858
	13:00~16:00		山田	山田	山田	山田	山田	
ストーマ外来 (皮膚・排泄ケア 認定看護師)	8:30~11:00		森本				森本	
	13:00~14:30			森本	森本			

土曜日は内科一診、外科一診のみ診察しております。

\* 歯科を除く各診療科の再診受付は7:30よりおこなっております。

部分は女性医師です。

## 広島記念病院案内図



### 交通のご案内

JR 広島駅より市内電車宮島行き・己斐行・江波行にて、  
 本川町電停下車、南へ100メートル徒歩1分  
 広島バス商工センター行き・祇園大橋行きにて  
 本川町電停下車、南へ100メートル徒歩1分  
 広島駅前よりタクシーで約10分

### 駐車場

立体駐車場 72台、平面駐車場 10台

身障者専用駐車場 3台

詳細は病院ホームページをご覧ください